

- 1 特集「協働」** 2
 七尾市地域づくり協働推進室の取り組み 2
 能美市協働型まちづくり市民会議の取り組み 3
- 2 大学と地域が連携する地域づくり** 4
 地域課題研究ゼミナール支援事業
- 3 震災復興地域づくり総合支援事業
 コミュニティビジネス・
 チャレンジ支援** 5
 能登の葉っぱでビジネス!
 空き店舗で「いっぶく処だんだん（暖々）」を开店
- 4 地域づくり活動の紹介** 6
 金石の地域づくりを考える懇話会 6
 NPO 法人 竹の浦夢創塾 7
- 5 奥能登ウェルカムプロジェクトの
 取り組み** 7
 「能登井」のさらなる魅力向上をめざして
- 6 NEWS & INFORMATION** 8
 イベント／募集

いしかわ地域づくり 往来

[www.pref.ishikawa.jp/
 shinkou/dukurikyou/](http://www.pref.ishikawa.jp/shinkou/dukurikyou/)

発行日／平成21年10月1日

発行／石川地域づくり協会

発行者／石川地域づくり協会事務局 事務局長 表 正人

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

石川県企画振興部地域振興課内

TEL.076-225-1312 FAX.076-225-1328

vol.6

I s h i k a w a L o c a l R e v i t a l i z a t i o n A l l R i g h t



金蔵万燈会（やすらぎの里 金蔵学校）

*記事及び写真の無断転載はお断りします。

1-a 特集「協働」

行政や市民、事業者がお互いの不足を補い合い、協力し合い、課題解決に向けて、共通の目標に向かって取り組む「協働」。県内でも、様々な団体で取り組まれています。今回は、七尾市と能美市の取り組みをご紹介します。

七尾市地域づくり協働推進室の取り組み

市民がもっと元気になる、市民のまちづくり活動を応援！

七尾市地域づくり協働推進室
まちづくりコーディネーター 谷内博史

七尾市では、市民が主役のまちづくりを進める事業として、市民税の1%以内で「七尾市協働のまちづくり推進事業」（事業初年度の今年度は600万円）を予算化し、市内で社会貢献的な活動をしているグループ・団体が行う活動を支援しています。

市民税の1%を市民活動へ助成する制度は、千葉県市川市や大分県大分市など各地で取り組みが始まっていますが、いずれも納税者である市民自らが市民税の一部から団体を選んで助成する制度になっています。七尾市では、武元文平市長のマニフェストから、七尾市を元気あふれる元気なまちにするため、本年度試行事業として市が予算化をし、団体からの事業提案・助成要望に対して公開プレゼンテーションと審査会を経て助成を決定する仕組みとなっています。

今年は申請27団体中、24団体が書類審査をパスし、公開プレゼンテーション・ヒアリングを経て、今年度の補助金交付団体として決定しました。

申請にあたっては、市の担当課との連携、協力の

ニーズを把握し、活動支援とともに、行政活動と市民活動団体との協働も実践していきます。また、推進室にまちづくりコーディネーターを配置し、活動がより効果的に、団体・地域社会の市民の双方にとって有益なものとなるようコーディネートを図ります。

今後は、この制度の実施運用の中で見えてきた課題を整理・分析しながら、庁内の協働推進にかかる体制づくりと職員研修による資質向上、市内外の地域づくり専門家とのネットワーク構築による地域づくりシンクタンク設置、協働や市民活動支援、地域内分権をすすめるガイドラインとなる「まちづくり条例」の制定を目指していくこととなります。

お問合せ
七尾市企画政策部企画経営課地域づくり協働推進室
TEL.0767-53-8633
<http://www.city.nanao.lg.jp/kyoudou/>

公開プレゼンテーションの様子



寸劇を交えての熱演も登場



1-b 特集「協働」

能美市協働型まちづくり市民会議の取り組み

みんなで夢をかたちに

能美市協働型まちづくり市民会議
副委員長 谷口健一

能美市協働型まちづくり市民会議（愛称：のつくす）は、平成20年6月に公募により、市民と市職員で構成された有志の会です。市民11名と市職員4名の15名（うち3名が女性）がメンバー。合い言葉は「絵に描いた餅にはしない。まちづくりの夢をみんなでかたちにしよう」です。市民、団体、企業、行政など、役割や分野が違う人たちが対等な立場で協力し合い、住みよいまちづくりを進めることを目的としています。

平成17年2月の旧3町合併後に策定された市総合計画では、「市民が主役の自立型まちづくり」が基本計画に位置づけられ、平成20年3月に「協働型まちづくりガイドライン」が作成されました。それに基づいて編成された市民会議は、市からの委託事業として、市民ミーティングや人材育成講座の開催を通し、市民に協働への理解と参加を進めつつ、3年をめどに協働事業の連携・支援・調整を担う中間支援組織の立ち上げを目標としています。

これまでの事業として、平成20年度には、まず協働を知ってもらうことを目的に、ガイドラインのPR版を

作成し、市民を対象にした第1回市民ミーティングを開催しました。また、いしかわ地域づくり円陣や能美市まなびフェスタでは分科会を担当して、協働の理解に努めました。平成21年度では、市民が協働へ参加することを目的に、7月に第2回市民ミーティングを開催、8月に市民活動支援補助金プレゼンテーション審査を実施しました。現在、市民会議で企画した人材育成講座（初級編：地域リーダーの育成）の運営を進行中です。

これからは、協働は「市民団体が自分たちの魅力を生かすチャンス」として更に周知を図りながら、市民活動の支援や地域の人材育成事業を継続していきます。また、中間支援組織結成のための環境整備や意見の集約に努めていきたいと考えています。

お問合せ
能美市協働型まちづくり市民会議事務局
（能美市まちづくり推進課内）
TEL.0761-52-8006

7月4日に開かれた市民ミーティング



ケーブルTVで市民ミーティングをPR



2 大学と地域が連携する地域づくり

県と大学コンソーシアム石川は、
大学と地域が連携する地域づくりを推進するために様々な事業を実施しています。
今回は、平成 21 年度実施中の「地域課題研究ゼミナール支援事業」をご紹介します。

地域課題研究ゼミナール 支援事業

地域課題研究ゼミナールは、県内高等教育機関のゼミナールが地域の課題解決を目指して地域と一体となって取り組み、その解決策を提言するものです。平成 21 年度は、地域からの 35 件の提案課題に対して、県内高等教育機関から 45 件の提案があり、審査の結果、18 件の課題が採択されました。

なお、今年度は、他の大学のゼミナールと連携してそれぞれの得意分野を活かして、課題解決に取り組む「連携枠」を設置しています。

すでにそれぞれのゼミナールでは、地域と一体となって研究をスタートしています。この研究の成果報告会は平成 22 年 1 月に金沢と能登で開催する予定です。

珠洲市で揚げ浜製塩体験をする金沢学院大学見瀬ゼミの学生



能登島の特産品を近江町市場で販売する星稜女子短大安藤ゼミの学生と金沢星稜大学の学生



■ 一般枠

活動地域	提案課題	ゼミ名
金沢市	プロスポーツクラブによる地域の活性化方策の検討 ～スポーツで町を元気にする方法を探る～	金沢星稜大学 田島講師
七尾市	沢野ごぼうのブランディングと地域団体商標の取得 (沢野町を中心とした嶺山半島の活性化)	金沢大学 大友教授
七尾市	七尾市の少子化に関する住民のニーズ調査と子育てしやすい地域づくりの政策提案	金沢星稜大学 北川准教授
七尾市	地域の特産品に対する消費者ニーズを探る調査	星稜女子短期大学 安藤准教授
珠洲市	奥能登の水田生態系の魚類、両生類、アメリカザリガニ等の分布と生態、特に環境配慮型圃場整備の効果	金沢大学 中村教授
珠洲市	珠洲市における揚浜式製塩業の基礎資料調査	金沢学院大学 見瀬教授
加賀市	加賀市内 3 温泉の温泉浴における身体への影響と温泉保養・療養地としての資源活用検証	金城大学 寺尾講師
かほく市	地産地消地元食材を活用した健康グルメのヘルシーツアー企画に関する調査研究	金沢大学 高山教授
白山市	小規模高齢化集落が安心して暮らせる地域づくり(東二口地区)	金城大学 田中講師
白山市	重要伝統的建造物群保存地区指定に向け、伝統的街並みを活かした白峰集落のまちづくり	金沢工業大学 谷教授
白山市	白山麓の長寿の秘密と生活リズム等関連要因の研究	金城大学 木村教授
白山市	白山市のコメと大豆のブランド化と米粉や豆腐など加工品開発に関する経済的研究	石川県立大学 辻井教授
内灘町	雪だるまつりのイベント効果を高めるための映像技術(雪だるまに映像を投影することによる効果)の研究	金城大学短期大学部 黒川教授
内灘町	内灘海岸における魅力づくりを通じた地域環境改善に関する研究	石川工業高等専門学校 村田准教授
能登町	能登町新保町のキリコに関する基礎的研究	石川工業高等専門学校 熊澤准教授

■ 連携枠

活動地域	採択課題	ゼミ名
珠洲市	持続可能社会を奥能登・珠洲のキリコ祭りで学び体験するツーリズムの企画と実施	代表 金沢大学 宇野客員教授 連携 金沢美術工芸大学 川本教授 石川工業高等専門学校 熊澤准教授
白山市	交通環境の変化による白山市内観光動向調査と観光誘客のための二次交通に関する調査研究	代表 金沢大学 高山教授 連携 金沢大学 伊藤教授 金沢星稜大学 堂下専任講師
穴水町	地域環境を活かした高齢化集落活性化策の検討～過疎農山漁村と中心市街地との協働による地域づくり～	代表 金沢星稜大学 池田教授 連携 金沢大学 田中特任助教

3 震災復興地域づくり総合支援事業 コミュニティビジネス・チャレンジ支援

財団法人能登半島地震復興基金は、地域の主体性と創意工夫により、地域資源を活用して地域の復興を図る民間団体の取り組みを支援しています。ここでは、復興基金の支援を受けてコミュニティビジネスを起業した「森の幸」「よつ葉」の取り組みを紹介します。

能登の葉っぱで ビジネス!

森の幸(穴水町)

「森の幸」は、穴水町で農林業を営む 7 人の女性が、高齢化が進む地域で、知識や技術を活かして何かできないかと集まったグループです。

地域に豊富にある山の恵み、オオバ、チマキザサ等の葉を「ツマ」として能登の温泉旅館に使ってもらう構想を、能登半島地震復興基金の支援をきっかけにビジネスとして実現させました。

以前はどの旅館も県外から「ツマ」を仕入れており、地域にある豊かな自然を利用してもらいたいと考えました。販路開拓、受注、収穫、商品の選別作業、配送、すべてメンバーが行うため、相手の顔が見え、求められているものがよくわかります。

手作りの山菜パウンドケーキや、ちまき等を携えて町のイベントに参加したり、地震後の街づくりにも積極的に参加してきました。現在は、きゃらぶきやおオバを使った加工品の商品化等に取り組んでいます。森の幸のブランド品として定着する商品が生まれ、それが地域の活性化・PR になることをめざします。

選別作業には慣れてきた。今後の構想について話し始めるとみんな止まらない



空き店舗で「いっぷく処 だんだん(暖々)」を開店

よつ葉(珠洲市)

珠洲市飯田町商店街で家業を営むおかみさん 3 人が、衰退する商店街の賑わいを取り戻すため、地元で室町時代より続く「二七の朝市(2と7のつく日に地元食材を販売)」との共存もポイントにしながら空き店舗を利用した地産地消の食堂を開いています。食堂の営業は商店街の「二七の朝市」の日と、土曜日。営業日以外も施設をコミュニティスペースとして開放し、隣接するバス停の待合所としても利用できます。

食堂には、朝市で売られる地物の取れたて農林水産物、能登大納言小豆、天然塩等、珠洲ならではのものをを使ったメニューがずらり。施設内では、市内のイベント情報の提供や市民の工芸品の展示・販売、珠洲カルタの原画展など地元に関連した企画展も行います。

「よつ葉」のグループ名は、3 人 + お客様で 4 つの葉(よつ葉)になって幸せを運ぼう、との願いがこめられています。子どもからお年寄りまで気軽に立ち寄れるみんなのサロンをつくり、商店街の活性化につなげていくことをめざします。

県外から講師を呼んで商品開発の勉強もする。現在、「だんだん」にて静岡の富士宮焼きそばを提供している



4-a 地域づくり活動の紹介

県内では、地域づくり団体が、様々な視点から地域づくり活動を展開しています。
今回は、「金石の地域づくりを考える懇話会」「NPO 法人竹の浦夢創塾」の取り組みを紹介します。

金石の地域づくりを考える懇話会

金石の地域づくりを考える懇話会は、金石の商工会、壮年会、青年団、婦人会の有志が、金石町を元気にするために具体的に行動しようと作った会だ。

拠点としている築80年の洋館「かないわ銭五」で行う食堂やバー、コンサート、美大生と組んでの町家イベント…と活動は多様。「決断と実行のスピードが重要。各自が得意分野で力を発揮し、チームワークが抜群なんですよ。」と事務局の二木さん。

昨年は隣の大野町と協力し、両町での町家巡遊やまちづくりフォーラムを行った。まちづくりフォーラムでは熱く語り合い、今後の地域づくりのキーワードがたくさん見つかった。

金石には、一朝一夕でつくられるものではない歴史資産が多くある。外部の方から意見をもらうことで、普段生活していると気づかない資源に気づくことができ、それをイベントにつなげる。活動を続けることで人とのつながりが広がり、それが多彩なイベントを支える。

現在、金石の地場産業のひとつであるキリコ（金石は材木屋が多く、その延長でキリコが地場産業となっている）に装飾を施す「アートキリコ」を試作している。アートを施したキリコの中に明かりを灯し、道沿いに並べて光を楽しむという案も、みんなで集まり金石について熱く議論する中で生まれた。

「金石が住みよい楽しそうなまちにみえ、ちょっといいね、とたくさんの方が来てくれるようになったら」。会の活動により、地域の人達が地元よさを再認識し、まちのステータスをじわりとあげていくことができると思っている。

金石に誇りを持って活動する彼らからは、自分たちが新たな担い手となってエネルギーなまちづくりを進めていくのだという熱意と地域への愛が強く伝わってきた。

「かないわ銭五」でのコンサート



まちづくりフォーラムでは、車座になって意見交換



4-b 地域づくり活動の紹介

NPO 法人 竹の浦夢創塾

NPO 法人竹の浦夢創塾の活動拠点は、木のぬくもり溢れる昔ながらの旧校舎「竹の浦館」。このやさぎの空間で、土地の人たちが大切にしてきた文化を守り伝えていく活動をしています。

工芸や伝承遊び、伝承料理、そば打ち等の様々な教室を開催しており、ホームページを見て県外から来る方も多いか。

特に力を入れているのは、日本の伝統食である発酵食の継承です。地元の酒屋さん・漬物屋さん・市職員らとともに立ち上げた「加賀発酵食文化研究所」では、今年の夏に、加賀市の特産品である梨や地元産タケノコを使った酢を誕生させ、地元の水・食材・人で作った「こだわり」の食品として注目されています。

「今は食育や地産地消が叫ばれ、食が見直されているいい時代。竹の浦館からその土地で育ったものを手をかけて食べることのすばらしさを発信していきたい。」と竹の浦夢創塾の事務局長・柿谷さんは語ります。

日本の伝統にこだわりながら、新しい挑戦を続ける竹の浦夢創塾、これからも目が離せません。

自然のものを使った工作教室



5 奥能登ウェルカムプロジェクトの取り組み

能登井2年目の新たな取り組みを紹介します。

「能登井」のさらなる魅力向上をめざして

奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会

当協議会では、奥能登地域の地域資源の掘り起こしと交流人口の拡大を図る取り組みを行っています。その取り組みの中で、食をテーマにした「奥能登食彩紀行」プロジェクトにおいて、誕生したのが「能登井」です。食材から器、箸に至るまで全て能登にこだわった井で、平成19年12月のスタート以来、新たな地域ブランドとして徐々に知名度が上がっています。

そんな中で、平成21年7月から新たに2つの取り組みを始めました。1つは、通常の能登井の量や値段などをおさえたその名も「コンパクト井」です。女性でも食べやすく、価格もリーズナブルで、現在は一部の店舗で提供しています。

そして、もう1つが「能登井オリエンテーリング」で、全参加店舗の能登井を1年間かけて食べ歩こうというスタンプラリー企画です。食べ歩いた店舗数に応じて、それぞれに認定証がプレゼントされます。

あなたも全店制覇の称号「超井人（スーパードンブリスト）」を目指して、能登井を食べ歩いてみませんか？

このパンフレットを手に、能登井を食べ歩こう



「NEWS & INFORMATION」はあなたの団体のイベント告知や、活動メンバー募集などを掲載するページです。掲載ご希望の団体は事務局までご連絡下さい。

地域活性化について学ぶ 「もみじキャラバン in 石川」

イベント

参加のお問合せ 076-225-1312

構造改革特区、規制改革をはじめとした地域活性化に関する制度の説明と個別相談会を行います。

また、温泉資源を活かして「別府八湯温泉泊覧会（ハットウ・オンパク）」を仕掛け、地域活性化を試みる全国の各地域から注目を集めている地域活性化伝道師 鶴田浩一郎さんの講演を行います。

- 日時 平成 21 年 10 月 23 日（金）13:30 ~
- 会場 石川県立生涯学習センター 21 号室
金沢市広坂 2-1-1 石川県広坂庁舎内
- 申込み FAX または電子メールでお申し込みください。
石川県企画振興部地域振興課
TEL. 076-225-1312 FAX. 076-225-1328
chiiki1@pref.ishikawa.lg.jp

市民わくわくアカデミー 「目からウロコ情報がたくさんある！ 参加したくなるイベント・講座の作り方」

イベント

参加のお問合せ 0767-22-9979

- 日時 平成 21 年 10 月 24 日（土）10:00 ~ 12:00
- 会場 羽咋市文化会館
- 参加費 500 円
- お問合せ 羽咋市市民活動支援センター
Tel. 0767-22-9979

皆が安心して安全に暮らせる 地球環境に向けて ESD シンポジウム

イベント

参加のお問合せ 076-223-1633

地球上のあらゆる人たちが安心して安全に暮らせるような、持続可能な社会づくりについて考えるシンポジウム（ESD：持続可能な社会づくりのための教育）を開催します。基調講演の後、地元の人たちを含めたパネル・ディスカッションを予定しています。

- 日時 平成 21 年 11 月 29 日（日）13:30 ~ 17:00
- 会場 金沢市文化ホール大会議室
- お問合せ 大学コンソーシアム石川事務局 TEL. 076-223-1633

環境映像祭 in 金沢 金沢まちなか自然学校特別企画

イベント

参加のお問合せ 076-224-2266

世界各国で制作された多様なジャンルの環境映像作品を上映する「環境映像祭 in 金沢」を開催します。映像の持つ力で、環境問題をより身近に感じ、身の回りの世界を見つめなおしてみませんか。

- 日時 平成 21 年 11 月 14 日（土）13:30 ~ 16:00
金沢市文化ホール 大会議室
- お問合せ 国連大学高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
TEL. 076-224-2266

奥能登音紀行♪ ～そこに行きたくなる“音”～大募集！ YouTube で公開！！

募集

参加のお問合せ 0768-26-2303

自然の音、祭りの音など、どこか懐かしいと思うような奥能登の音を探しています。応募作品はインターネット上の動画共有サイト「YouTube」を通じて公開します。皆さんの身の回りにある音を是非ご紹介ください。詳しくは、www.okunoto-ishikawa.net/ をご覧ください。

- お問合せ 奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会事務局
「そこに行きたくなる音」係
TEL. 0768-26-2303（奥能登総合事務所）
okunoto@pref.ishikawa.lg.jp

能登ふるさと博奥能登絶景海道 「朝日・夕陽フォトコンテスト」

募集

参加のお問合せ 0768-82-7776

珠洲市の魅力を写真で表現しませんか。詳しくは www.zekkeikaido.com/ をご覧ください。

- 応募締切 平成 21 年 11 月 5 日（必着）
- 募集作品 平成 21 年 7 月 3 日～10 月 31 日の
「能登ふるさと博」期間中に珠洲市で撮影された、
豊かな自然・文化などを取り込んだ朝日・夕陽の写真
- お問合せ 珠洲市観光交流課
「奥能登絶景海道 朝日・夕陽フォトコンテスト」係
TEL. 0768-82-7776 kankou@city.suzu.ishikawa.jp